

### 【参加報告】平成24年度技術士第二次試験合格者祝賀会

日本技術士会平成24年度技術士第二次試験合格者祝賀会が次のとおり開催されました。

- ・日時：2013年4月20日土曜日17:00～18:40
- ・場所：日本技術士会 田中山ビル9階会議室

本会は、同日開催された第二次試験合格者研修会に引き続き実施されたもので、約50名の二次試験合格者の参加があり、原子力・放射線部門からは、(株)神戸製鋼所の和田隆太郎氏が参加されました。(写真左から2人目)

迎える先輩技術士として、原子力・放射線部会から桑江部会長と筆者(岡村)が出席しました。(部会の佐々木聡幹事もCPD実行委員会として別途参加)

内村会長、CPD実行委員会の笹口委員長の祝辞・挨拶、清水金属部会長の乾杯の発声を皮切りに歓談に移りました。



【左から、桑江部会長、和田氏、佐々木幹事、岡村】



【挨拶する桑江部会長】

今回は女性の合格者の姿も目立ち、和気藹藹とした和やかな雰囲気での会が進行しました。各部会からの挨拶では、桑江部会長が、除染情報プラザ等への参加など福島第一原発事故からの復興支援活動を行ったこと、他部門との連携で事故について共考するためのCPD教材を発刊したことなど、最近の部会の活動状況を紹介しました。その後、合格者の代表から一言ずつ抱負が述べられ、新合格者の活躍を祈念して盛会のうちに会が開きとなりました。

会場において他部門の技術士から頂いた原子力・放射線に関する意見を幾つか紹介します。

- ・停止中の原発の再稼働を急がないと企業活動が立ちいかなくなり日本経済が疲弊する。
- ・活断層調査の範囲を40万年までとしたり、重要施設設置地盤における変異の存在を認めないなど、最近の規制動向はやや行き過ぎと感じる。
- ・配電盤へのねずみの侵入による停電の発生やタンクからの汚染水漏れの繰り返しなど最近の福島第一原発の対応状況はお粗末である。

以上